

HANAMIZUKI

## はなみずき

学報 Vol.51

2021年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1  
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981<https://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 石永 正隆

印刷 株式会社インパルスコーポレーション



## コロナ禍での学生生活



学長  
石永 正隆

山陽の丘はハナミズキが咲き終え、まばゆい程の新緑の木々が息づいています。今までは小鳥のさえずりが笑い声でかき消されていましたが、さえずりの声ははっきりと聞こえてきます。ただ、温暖化による早い梅雨入りで初夏の季節感が吹っ飛んでしまいました。

新入生の皆さんもう慣れましたか。コロナ禍での大学生生活のスタート、オンライン授業で直接に教員や友人に会えない日があり、かなり戸惑っておられるようにも思います。しかしながら、フレッシュマンセミナーの授業「沿革と建学の精神」についてのレポートには、多くの方がしっかりと自分の将来のことを考え、授業に取り組もうと書いておられたので逆に私が励まされたくらいでした。また、私の経験から話した「おはようという挨拶について」や「好き嫌いは誰にでもある。ただ、心の壁だけは作るのをやめよう」にも多くの人が共感してくれました。

二年生、三年生の皆さんはコロナ禍で昨年1年間過ごされ、思い描いていたキャンパスライフを余儀なく変更せざるを得ず、歯がゆい思いをされたことと存じます。ただ、社会に出る前にオンラインで授業等を経験されたことは良かったのではないかと思います。最終学年になって実験・実習・演習、更には臨地実習やインターンシップなどがあり多忙な毎日となりますので、体調管理には十分に気を付けましょう。

新型コロナウイルスによる感染症拡大でパンデミック状態になり、いつ収束するのか終わりの見えない状況が続いています。今後マスク越しの世界で、人の姿や顔に対する認知機能や匂い(臭い)の感覚機能などが鈍感になっていくのか、研ぎ澄まされていくのか私にはとても興味があります(そうなる前にワクチン接種によって早々にマスク無しの世界に戻るかもしれませんが)。環境破壊・生態系(生物多様性)破壊が新型コロナウイルスによるパンデミックをもたらしたということで、文明の転換期だと言う学者もいますが、産業構造がそう簡単にも変わると思いません。ただ、生き方は多様化し、確実にICT(情報通信技術)と生活は切り離せないものとなるでしょう。

本学の実践行動目標である愛優輝(人を愛し、人に優しく、輝く女性)の精神は、コロナ禍の世にあってもとって大事な精神だとつくづく思われます。

さあ皆さん人として、職業人としてどう生きていくか、「学び続ける力」を意識してコロナ禍を乗り切ってください。

# 新入生の声

## 人間生活学科

人間心理コース 1年 金森 彩歌



新しい環境に期待と不安を抱える中、大学生活が始まりました。今年は新型コロナウイルスの影響を受け、講義の半分以上が遠隔で行われることになりました。慣れない方法に戸惑いもありますが、専門の分野の知識を身に着けるため頑張ろうと思います。

対面での授業が毎日受けられず、サークル活動も行うことが難しい。そんな現状は私がかつて思い描いていた大学生活とは遥かに違います。それでも自分の理想の為に今何が出来るのか考え、慎重に行動を続けていくことが大切なのではないでしょうか。

苦しい状況が続きますが、いつまでも負けてはいられません。私は今自分に出来ることに精一杯取り組み、前向きに学生生活を送っていきたくです。

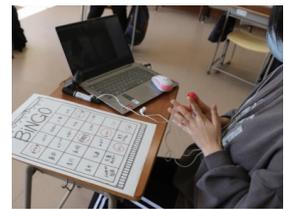
## 食物栄養学科

栄養管理コース 1年 原田 愛佳



新しい環境に胸を躍らせていた私たちでしたが、新型コロナウイルスの影響を受け、大学生活に慣れることなく一週間ほどでオンライン授業となりました。しかし、その状況下の中で先輩方が私たちのためにZOOMを使用したオリエンテーションセミナーを開催してくださいました。アルコール消毒やソーシャルディスタンスを保ちながら各教室に学生が集まり、チーム対抗のビンゴ大会やイントロクイズなどを企画・運営してくださいました。このオリエンテーションセミナーのおかげで友達を作るきっかけも出来ました。また、大学生活について詳しく知る機会にもなり、本当にうれしかったです。

これから始まる実習では、感染防止対策を徹底しながら栄養士に必要な調理技術を十分に身に着けたいと思います。二年間という短い時間の中で、たくさんのことに挑戦し、様々な経験を積んで、立派な栄養士になれるように努力していきます。



## 臨床検査学科

臨床検査コース 1年 山近 菜摘



私は、祖父が病気で苦しんでいる姿を見て「病気の早期発見に携わりたい」と思い、臨床検査技師を目指して、山陽女子短期大学臨床検査学科に入学しました。農業高校出身のため、大学の勉強についていけないのか不安を抱いて入学しましたが、グループ活動やオリエンテーションを通してクラスメイトとの距離を縮めることができました。実際に授業や課題が難しく大変なことは多いですが、わからないときは友達と助け合い協力して少しでも多くのことを理解できるように心がけています。

まだ、入学して日が浅いですが、講義では授業内容に関連付けて先生方が実際に経験してきた臨床検査技師の仕事内容や、医療人として注意すべき点も詳しく話して下さいます。このように、1年生のうちから就職について考えながら勉強できる山陽女子短期大学の環境に喜びを感じています。

これから、夢をかなえるために友達と支えあいながら三年間を充実した時間にしていきたいです。また、勉強だけでなく、ボランティア活動等にも参加して社会に通用する力もしっかり身に付けていきたいです。

## 専攻科

診療情報管理専攻 1年 寺迫 瞳



人間生活学科での2年間を終え、いよいよ専攻科としての生活がスタートしました。今年は診療情報管理士の資格取得に向け、主に今まで学んできたことの総復習を行います。加えて新しく学ぶ科目もあり大変ですが、専攻科生2名で2月の認定試験合格を目指して頑張ります。

昨年は新型コロナウイルスの関係で遠隔授業がほとんどでしたが、現在は感染対策を行った対面授業となりました。しかし、就職活動や実習については、今後どの程度影響が出るのか不安な面もあります。ですが、1年間という短い期間を無駄にしないために、そして最後の学生生活を充実したものにするために、日々前向きに、計画的に過ごしていきたいと思っています。

# 人間生活学科

## 特論発表会

人間生活学科では2年間の学修の集大成として、毎年「特論発表会」を開催しています。今年は新型コロナウイルスの影響で2年生は対面にて、1年生は自宅からオンラインにて参加という、例年とは違う開催方法となりました。そのような中で、2年生は自分たちが関心を持ったテーマについて1年間、学科教員の指導のもとで研究した成果をしっかりと発表することができました。学科の特色らしく、バラエティに富んだ研究テーマがあふれる、とても興味深い発表会となりました。

また、1年生にとっても、先輩の研究発表を聞くことは、次年度に向けていい刺激を受ける機会となったようです。



## テーマ

- ・広島県の地域医療 - 課題とメリット -
  - ・医療通訳士の現状と課題
  - ・ファッションセラピー
    - QOL・ADLとの関連 -
  - ・多国籍社会
    - 医療現場の受け入れ体制 -
  - ・病院食の在り方
    - 食事療法を必要とする場合 -
  - ・PHR(Personal Health Record)と日本の医療
  - ・日本の薬価
    - なぜ薬価が高騰するのか -
  - ・新型コロナについて
  - ・キャッシュレス決済の現状
  - ・日常生活におけるAIの影響
  - ・電磁波について
  - ・コロナの感染及び影響について
- ・ヒット曲の考察 - 1976年～2019年 -
  - ・ハリウッド映画と日本映画の比較
  - ・映画「ズートピア」から見るディズニー映画が描く社会背景
  - ・時代と共に変わるDisney Princess
  - ・映画を見た後の人間の脳や気持ちについて
  - ・「ハウルの動く城」
    - 内面＝外見の呪い -
  - ・猫の観察と行動
    - 飼い主のいないときの猫は何をしているのか -
  - ・自分にとっての学びの経験
  - ・人の命、動物の命
  - ・ハリーポッターから考える全寮制の学生の思春期
  - ・推しメンパーカラーと好きな色の関係性

# 食物栄養学科

## 卒業制作展および作品展

2月7日に、毎年恒例となっている「卒業制作展および作品展」を開催しました。

栄養調理コース2年生による2年間の学習の成果を發揮した個人・製菓作品と、栄養調理コース1年生による個人作品の展示をしました。

お越しくだしました皆様ありがとうございます。



# 臨床検査学科

## 広島県医学検査学会(Web)に参加して

臨床検査コース 2年 山口 聖礼



2月28日にWeb開催された、広島県医学検査学会に参加させていただきました。今年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催でした。広島県内で働く若い臨床検査技師の先輩方が各部門の研究発表や症例検討を行っていました。中でも私が一番興味を持ったのは倦怠感の要因や貧血の原因についての症例検討でした。倦怠感や貧血は比較的日常生活で高頻度に起こりうる体調不良の1つであると言えます。癌などの大きな病気だけに目を向けるのではなく、今回の学会で紹介された症例のように日常の小さな病気にもしっかりと向き合い、その原因を追求しようとするのが臨床検査技師として必要な力の1つであると感じました。臨床検査技師を目指し日々学ぶ者として、大きなものに囚われ過ぎず基本をしっかりと身につけることが大切だと再認識することができ、非常に良い経験になりました。

## 臨床検査技師として

2019年卒 畝本 理沙



新型コロナウイルスにより医療現場が大きく変化し、遺伝子検査を行う私たち『臨床検査技師』にも注目が集まりました。感染者の受け入れをしている病院で働く私は、昨年度から遺伝子検査にも携わっています。遺伝子検査は、細かい手技が必要で、僅かなコンタミによって結果が変わってしまうため、検査への責任と正確性が求められます。その結果によっては患者の生活をも左右してしまうからです。また、採血など患者と接することもあり、私自身が感染し、媒介者となって他の患者に感染させてしまう危険にも曝されています。それは仕事だけでなく私生活においても同様で、感染予防には細心の注意を払わなければいけません。

この1年、新型コロナウイルスの出現により、大変だったことも数多くありますが、『臨床検査技師』としての働き方について考えさせられ、改めて『臨床検査技師』としての自覚を持ち、大きく成長できたと思っています。

## 役職教職員紹介



学長  
石永 正隆



副学長・教務部長  
水野 敦子



人間生活学科長  
高田 晃治



食物栄養学科長  
岡崎 尚



臨床検査学科長  
石河 健



専攻科長  
丸川 浩



学生部長  
鈴木 理



教学IR委員長  
三島 清司



事務局長  
沖 栄治

## 人 事

〈退職〉2021年3月31日 人間生活学科教授 章 志華  
臨床検査学科教授 谷口 菊代

〈採用〉2021年4月1日 人間生活学科教授 鵜根 弘行  
人間生活学科講師 岩井 健吾  
臨床検査学科教授 尾田 三世  
臨床検査学科准教授 久保田耕司  
教務部 西村友貴子

## 学生ホールに憩いの場所 完成しました

学生ホール地下に、畳を入れ、憩いの場所が完成しました。  
ざぶとんで足を伸ばしてゆったりできます。最新の雑誌  
15冊も配置し、充電対応のコンセントや電子レンジ、お菓子  
の自動販売機も入れました。

中庭には、椿や沙羅の花が咲き、静かな空間です。のん  
びりしたい時に、1度おいで下さい。



## 令和2年度事業活動収支計算書(山陽女学園)

(R2.4.1~R3.3.31) (単位:千円)

		科 目	決 算		
教育活動収入	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	720,622		
		手数料	11,227		
		寄付金	2,759		
		経常費等補助金	372,789		
		付随事業収入	43,694		
		雑収入	34,823		
		教育活動収入計	1,185,916		
		教育活動支出	事業活動支出の部	人件費	740,000
				教育研究経費	333,338
				管理経費	167,910
徴収不能額等	0				
教育活動支出計	1,241,249				
		教育活動収支差額	△ 55,332		
教育活動外収入	収入の部	受取利息・配当金	130		
		その他の教育活動外収入	0		
		教育活動外収入計	130		
		教育活動外支出	支出の部	借入金等利息	1,081
				その他の教育活動外支出	0
				教育活動外支出計	1,081
		教育活動外収支差額	△ 950		
		経常収支差額	△ 56,283		
特別収入	収入の部	資産売却収入	0		
		資産売却差額	0		
		その他の特別収入	1,550		
		特別収入計	1,550		
		特別支出	支出の部	資産処分差額	16,970
				その他の特別支出	0
特別支出計	16,970				
		特別収支差額	△ 15,420		
〔予備費〕					
		基本金組入前当年度収支差額	△ 71,704		
		基本金組入額合計	△ 44,018		
		当年度収支差額	△ 115,722		
		前年度繰越収支差額	△ 2,423,517		
		基本金取崩額	22,227		
		翌年度繰越収支差額	△ 2,517,013		
(参考)					
		事業活動収入計	1,187,597		
		事業活動支出計	1,259,301		

## 令和2年度貸借対照表(山陽女学園)

(R3.3.31) (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・繰越収支差額の部	
科 目	2年度末	科 目	2年度末
固定資産	3,692,055	固定負債	203,340
有形固定資産	3,070,808	流動負債	186,628
特定資産	616,425	負債の部 合計	389,969
その他の固定資産	4,821	基本金	7,195,659
流動資産	1,376,560	繰越収支差額	△ 2,517,013
		翌年度繰越収支差額	△ 2,517,013
		純資産の部 合計	4,678,646
資産の部 合計	5,068,615	負債及び純資産の部 合計	5,068,615

※財務関係書類につきましては、学校法人山陽女学園情報公開取扱規定に基づき閲覧することができます。